こっこれぽ

未来の仲間をみんなで育てよう！

第２回　臨地実習指導者研修

2023 年 7 月 7 日に第 2 回臨地実習指導者研修」を開催し、22 名が参加しました。

【目的】
臨地実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導ができる
【目標】
・臨地実習を受け入れる一連の流れが理解できる
・実習指導を意図的・計画的に実践する必要性が理解できる
・学生が主体的に学ぶための指導方法を理解できる
・病棟スタッフ、教員と共に、学生指導を取り組むための行動を述べることができる
・実現したい指導の方向が明確にできる

講師：保健学科実習委員の先生方

講義：「臨地実習の基本を学ぼう

実習受け入れの一連の流れや教材観、学生観、指導観、実習領域や学生の特徴を学びました。

「実習受け入れの一連の流れ」

経験することで学び、成長していきます。学校では学べないことをたくさん経験させて下さい。

鵜瀬副看護師長

「実習指導の基本」

指導方法は多彩な工夫が可能です。指導者さんらしさを生かした学生指導をよろしくお願いします。

永江先生

「学生の特徴」

学生はとても緊張して実習に行きます。質問しやすい環境づくりをよろしくお願いします。

山田先生

グループワーク：学生に合った指導方法を考えよう

事例をもとに学生に指導したいこと、どのように指導するか指導方法や指導上の留意点を考慮し、具体的に考えました。

永橋先生

実習の目標を事前に確認しましょう！

グループワーク：指導者と教員との連携について考えよう

指導者と教員の連携の工夫していることや、困っていることを話し合い、よりよくする方法を一緒に考えました。

- 学生の特徴を事前に聞いておく
- 連絡を取り合う方法を確認する
- 学生に何を学ばせたいのか具体的に共有する

- 指導者と教員で役割分担をする（ケアの担当、記録の確認など）
- 毎朝話し合う時間を設ける
- 指導者と教員のお互いのスケジュールを確認する

個人ワーク：実習を通して学んでほしいわたしの「ねがい」

「学生には将来こんな看護師に育ってもらえたらいいな」「この実習ではこんな看護を学んで欲しいな」「こういうことを大事にしながら学生に関わっていきたいな」という“ねがい”を明確化しました。

みなさんのねがいには学生指導への熱意と看護を大切にする気持ちがあふれていました！！
ぜひ、日々の実践につなげてください。

～アンケートより～
・実地指導者をするにあたり、不安が強かったが、研修後は不安が軽減してモチベーションが上がりました。
・保健学科の先生や、ベテランの指導者さんの話が聞けたため、勉強になりました。
・指導者の心得、気をつけなければ点を学ばせてもらえてよかったと思いました。
自分の看護観を再度考えたいと思います

作成　看護キャリア支援室　鵜瀬葉月　柴田久美